

# 音鑑・夏の勉強会 2018

## 「よりよい授業を求めて」

8月17日・8月18日～19日  
教員免許状更新講習（選択領域6 + 12時間）認定

毎年恒例の夏の勉強会です。今年は募集開始早々に定員となり、多くの先生に受講いただきました。

1日目の音楽講座では、午前中は『こきりこ』の体験と『こきりこ』をはじめとする、郷土の音楽の

教材化について学びました。

午後は篠笛の体験をし、短時間の講習でしたが、簡単な曲が吹けるようになり、楽しみながら基本的な奏法について学びました。

### 1日目（8月17日）

研修内容：●音楽講座1「郷土の音楽を体験してみようー『こきりこ』を中心に」

●音楽講座2「篠笛を吹いてみよう」

講師：藤沢 章彦（東京女子体育大学講師、当財団理事）

福原 寛（福原流笛方／国立音楽大学講師）講座2

河崎 秋彦（茨城県取手市立取手東小学校教諭）講座1



◀「こきりこ」の調査を始めたところから、教材化、授業をするまでのお話を聞きました。

こきりこなどの楽器を体験し、「こきりこ」のDVDに合わせて演奏しました。▶



◀まずは、篠笛の構え方から学びます。最後には「さくら」や「こきりこ」といった曲も吹けるようになりました。▶



◀個人練習では、全員福原先生から直接指導を受け、わからないところなどアドバイスをもらいました。

### 【アンケートより】

- ・「こきりこ」は今まで指導方法に悩み、授業で取り上げていませんでしたが、今日の講座がおもしろく、興味もったので、是非実践してみたいと思いました。
- ・初めて篠笛を体験しました。思った以上にむずかかったですが、生徒の気持ちがよくわかりました。
- ・郷土の音楽については、今まで気づかなかった角度から取り上げていただいたので、勉強になった。
- ・篠笛の演奏を聴き、その音色の幅の広さと深さを感じ、とても感動した。篠笛で短い曲の演奏もできるようになり、うれしくなった。

2～3日目は、鑑賞領域の指導と評価についてです。2日目の午前中は講義を聞き、午後から3日目にかけてはグループ毎に研修をしました。

講義では、新学習指導要領の内容について、改訂の基本的な考え方や要点などを中心に確認しました。グループ研修では、音鑑の勉強会ではおなじみ

の、さまざまな演奏を比較しながら鑑賞し、授業のねらいに適した音源をじっくりと選んだり、「共通事項」を窓口にした楽曲分析をしたりしました。

講師の先生とグループのメンバーの先生方と、意見交換をしながらよりよい授業を求めて、考えを深めていきました。

2日目・3日目(8月18日・19日)

研修内容：●講義「鑑賞領域の指導と評価について ～新学習指導要領の内容～」

●グループ研修「鑑賞領域の指導と評価」の実際

講師：藤沢 章彦(東京女子体育大学講師、当財団理事)／館 雅之(神奈川県横浜市立つぎの丘小学校校長)

熊倉佐和子(東京都練馬区立関町北小学校主幹教諭)／勝山 幸子(東京都港区立御成門中学校主任教諭)

梅宮 真里(福島県福島市立吉井田小学校教諭)／安部 文江(長野県御代田町立御代田中学校教諭)



▲Aグループ 中心教材：「ペールギュント」



▲各グループ、「共通事項」を窓口、楽曲を分析しました。



▲講師の先生からアドバイスをもらい、一緒に考えます。

▼Dグループ 中心教材：「神田祭の音楽」



▼Cグループ 中心教材：「待ちぼうけ」



▼Bグループ 中心教材：「交響曲第5番」



▼全体での研修報告では、「青森ねぶた祭」のハネト体験もしました。



#### 【アンケートより】

- ・新学習指導要領に基づいて指導案を作成する演習を通して、鑑賞の活動に必要なことを教えていただきました。
- ・自分が知らなかった分野を細かく取り上げていただいた講座で、とてもわかりやすく学ぶことができました。
- ・講師の先生のわかりやすく、的確な助言で、悩んでいたことも少しずつ理解していくことができました。
- ・鑑賞の評価については常に悩んでいることだったので、学ぶことができてよかった。2学期から役立てていきたい。